

症例番号		選択	テーマ	(3) ステージC: 心不全を繰り返す患者への療養指導					
患者背景	年齢(歳)	76	性別	男	職業	無	職種:		
	医療助成	無	助成の種類						
	介護保険	無	介護サービス						
	家族構成	同居	家族の状況		妻と自宅に同居, 子供: 娘1人				
	認知機能	問題なし							
	心理的問題	なし							
	その他: 患者背景に関する特記事項(性格特性等)			心不全療養行動に関わる性格特性などの情報が不明					
心不全病態	心不全の原因疾患: OMI、AS								
	心不全の発症・進展に影響する併存疾患: 慢性腎臓病								
	その他の既往歴: 脂質異常症、								
	【現病歴】 心不全の原因疾患・併存疾患の、症状・診断・治療の経過	5年前に心筋梗塞を発症、大動脈弁狭窄症も指摘され、かかりつけ医に通院。かかりつけ医を受診し、胸部レントゲン写真にて肺うっ血、胸水貯留著明であり、心不全急性増悪のため当院へ紹介・入院となる。							
	ステージCに至るまでの経過と心不全増悪を繰り返す状況、今回の心不全増悪の契機や症状などが記載されない								
	心不全進展ステージ		C		NYHA		III		
	心機能、その他の検査・身体所見 * 問題点抽出時の記載	左室駆出率(%)		38		BNP/NT-proBNP(pg/mL)		NT-proBNP	5209
心不全治療	薬物療法 (心不全治療薬 / 進展予防のための治療薬も含む) * 一般名で記載		①β遮断薬		ビソプロロール		⑪その他		アスピリン
			②ACE阻害薬		エナラプリル		⑪その他		ピタバスタチン
			④MRA		スピロノラクトン		選択		一般名
			⑥利尿薬		フロセミド		選択		一般名
	非薬物療法		心臓電気デバイス		無		酸素・呼吸補助療法		無
セルフケアの状況	手術・カテーテル治療		無						
	心不全に関する知識: 心不全に関する知識が乏しく、関心がない。妻から労作時の呼吸困難について指摘されるが様子をみていれば治るものと気にしていない。								
	セルフモニタリングと受診行動: 不良		具体的な状況が記載されていない						
	服薬管理: 不良								
	栄養・水分管理: 不良								
本症例への療養指導	身体活動: 低下								
	喫煙状況: 心筋梗塞発症後より禁煙(5年目)								
	その他: 特記事項なし								
	介入の場		病院(入院)						
	【問題点】心不全の急性増悪因子のアセスメント(ステージA/Bでは心不全に進展する可能性のアセスメント) 心不全による入退院を繰り返している。								
	具体的な問題点に関する記載がない								
	【療養指導の実際】(心不全発症・進展・増悪予防のポイント, 指導した具体的内容, 多職種, 病院・地域との連携, 家族への支援を含む, テーマに沿って, 工夫した点を具体的に記載) 入院2日目より身体機能低下予防を目的とする理学療法が開始となる。初日はベッドサイドでの立ち座り運動を10回2セット実施。入院3日目より廊下歩行を開始した。歩行距離が伸びると呼吸困難が出現するためボルグスケール13を目安に休息をとりながら歩行距離を段階的に拡大した。退院時にはADLsは自立レベルまで回復した。退院後に自宅で実施する運動プログラムを作成しお渡しした。								
入院中の理学療法の経過の記載となっている テーマの記載基準に沿った記載になっていない、本症例の問題点に沿った、多職種からの個別の指導内容が読み取れない									
【療養指導の結果】 多職種から心不全の疾病管理に関する教育や指導を実施し理解されていた。									
療養指導の結果として患者の反応・変化が記載されていない									
【療養指導の評価・今後の課題】 心不全予防に向けた疾病管理									
指導の効果が認められた点、まだ改善の余地がある点などが具体的に記載されていない									
【備考】									